

be profoundly grateful


～心から感謝～

おおもり しょうご
大森 章吾

平成 20 年度、七飯町海外交流研修にあたり姉妹都市であるコンコード町と七飯町は調印を交わしてから 11 年目を迎えております。しかし、私自身は海外交流研修に参加するまでは、マサチューセッツ州コンコード町についての知識がありませんでした。今までの海外経験は六カ国ほどありますが、ホームステイを体験することは初めてであり、自身の人生において無縁と考えておりましたから、このような素晴らしい機会を与えていただき本当に感謝しております。

また、[ホームステイ=学生] と考える方も多いと思いますが、あえて私は、この年齢で参加する気持ちとしては、自分自身への修練・挑戦、また、実際に見て感じて知るにより、自身の成長と想う考えや期待があるからでした。

そして、私は事前にこのような目標を掲げ海外交流研修に望む事に致しました。

- 
- ① マサチューセッツ州コンコード町の歴史、文化、産業などを学ぶ
 - ② 環境問題への取り組み方について
 - ③ 日本文化や七飯町及び近郊の地域、生活などを伝える
 - ④ ホームステイを体験する事で異なる地域の考え方、ライフスタイルを学ぶ
 - ⑤ 今後のホームステイ受け入れについての考え方、接し方について
 - ⑥ 子供達への教育、指導、取り組み方について
 - ⑦ 緑化に対する考え、取り組み方、ランドスケープデザインについて
 - ⑧ 英語の語学力の向上

《以上 8 項目を限られた時間の中で・・・》

この海外交流研修ではコンコード町に滞在後、ボストン・ニューヨーク視察となりますが、姉妹都市との交流・ホームステイ生活のみの報告とさせていただきます。

初めに出発前の準備として英語の語学力がない私は、電子辞書と日常英会話の本を購入しホームステイに望みました。自宅を出発してからコンコードに到着する迄の費やした時間は約 26 時間（時差は-13 時間）コンコード町への到着時刻は午後 9 時頃でホストファミリーの方とカーライル高校で初対面し挨拶を交わしました。

ホストファミリーの家族構成はラリー（父）、メリーアン（母）、マイケル（息子）、娘 2 人（近郊に在住）、クリフ（愛犬）ラリー家では初めての受け入れとのこと。

ラリー宅への到着は 10 時を過ぎておりましたが、マイケルとクリフも暖かく出迎えていただき、ここからが私自身初めてとなるホームステイ生活が始まったのです。

最初に、自己紹介や家族の紹介、お土産を身振り手振りで説明しながら手渡しました。

【知っている単語を話すだけでも意外と理解していただきました・・・？】

メリーアンは私にお腹空いてない？と尋ねてくれましたので、夜食を作ってもらい、食後はラリーとコーヒー&喫煙タイム（外のデッキにて）を共にその後、起床する時間や明日の予定などを伝え就床・・・【楽しみと不安で寝付けない・早朝3時・4時・5時には日本から電話ありで寝た気がしない！】



【初日】 7時に起床、カーテンを開け風景を見渡しました。（森の中？）辺り一面、大自然しかも紅葉が素晴らしく綺麗、家族と挨拶を交わし急いで外のデッキへ

【肌寒い中しばらく風景を見渡していたような！】その後、アメリカンスタイルの朝食をとり、そしてラリーの車（リンカーン）に乗りメンバーと合流、視察場所となるタウンハウス・下水道施設・消防署・警察署・学校などを拝見させていただきました。ここでは私自身、七飯町の消防団員としてコンコード消防署についての交流をお話し致します。姉妹提携を結んでからまだ一度も訪問した事がないと聞いておりましたので、コンコード消防署の皆様からたいへん暖かく迎えられました。

私たちは、通訳のジュンコさんを通じて、いろいろなお話をさせていただきました。コンコード町には消防団員がいなく全ての火災・災害等は職員のみで仕事を行うそうです。地域的には風水害や地震などのなく素晴らしい環境とのこと。救急車出動もアメリカでは料金がかかるようで、余ほどの事がない限り救急要請もないようです。

【地元七飯では大変迷惑な救急出動が多々あるそうですが】

また、七飯町にはボルケーノ（活火山）があることを伝えましたが大規模な災害は想像できないようで大変驚いておりました。【私も大噴火の災害は想像できませんが！】

自動車の運転マナーも非常に良く事故等も少ない感じに見受けられました。互いの地域に付いて話し合い、有意義な交流を図ることができました。また、実際使用されている防火服を着用させていただき、更には私一人だけ大型レスキュー車に乗りコンコードの町を案内させていただきました。【日本ではありえない車両出動】

後にコンコード町に住んでいる方にこの嬉しさを伝えると、地元コンコードでもその様な体験をした人はいないと、たいへん驚いておりました。消防職員の制服（キャップ・Tシャツ・ジャケット・パンツ）も七飯消防署にたいへん似ておりました。

【七飯消防署もアメリカンスタイル】



コンコードファイアー職員の皆様、たいへん暖かい心遣いありがとうございました。



初日の視察を無事に終える事となりますが、驚きの連続はまだあります。
夜のディナーは、私のホストファミリーとユウキ・ナオユキのホストファミリーであるハリ一家と共に過ごすことになりました。

ハリ一家は豪華なプールがあり、ハリ一家の息子（小学生）とナオユキはスイミング、
【ナオユキ、寒い中ご苦労様です！】

その後、ディナー専用ルームにてお祈りを捧げてからディナータイム（パン・パスタ・ターキー鳥の煮込み・サラダ・ビール等）楽しい夕食を終え、帰宅後は、ラリーとパソコンにて英文書を解釈しながら会話、グーグルマップで七飯町や近郊の町並みを見せ、七飯町役場のホームページ、洞爺湖サミット開催地、過去の交流事業、自身の地域活動など紹介致しました。またラリーも日本語を少しばかり勉強し会話も楽しくなってきました。【コニチハ・アリガトのみ！】

初日から、とても素晴らしい体験の連続で不安などは解消されておりました。

【二日目】 クランベリーファーム・ガーデン・イーストコンコードの町並みなどを視察、その中で個人所有の広大で素晴らしい庭園を拝見させていただきましたので、ここでは私の専門職であるランドスケーパー（造園業）の視点から見たコンコード町の風土についてお話したいと思います。

コンコード町の気候は七飯町（大沼地区）とほぼ同じ様に見受けられ町全体が紅葉一色、景観的には大沼の湖畔周辺に自宅が建っている感じで、湖や河川など自然が豊富であり樹木類・野草類に至っても地元にあるものが意外と・・・！

【コンコード町は北緯 43 度・七飯町は北緯 42 度】



木々は建物より大きく自然を活かした樹形・天然石・木製フェンス・芝生・資材等をたくさん見ることが出来ましたし、庭園の維持管理に至っても、自己管理、業者への依頼されている方も多く拝見。【コンコード町の電話帳でも数多くの業者を調査済み】愛情を持って庭園を管理、四季折々の表情を観賞し家族で過ごせる空間創りは様々、素晴らしいランドスケープデザインを勉強させていただきました。

マサチューセッツ州コンコード町は歴史、文化、豊富な自然環境、全てにおいて素晴らしく、地域の方々もとても心優しく感激致しました。

視察終了後は、ラリーと二人でコンコード近郊にあるゴルフ場へ・・・

【初日に私達は共通の趣味がゴルフとの事で話が一致しゴルフ交流に発展】



ハーフラウンドで日没となりプレー終了致しましたが、とても素晴らしいゴルフ交流を満喫できました。【ラリー、七飯町に来たらパークゴルフですよ～お】

【三日目・四日目】 中高生の皆さんと一緒に、ソロー小学校へ訪問、私たちは児童や保護者の方々が大勢いる中、一人ひとり自己紹介

【I LOVE CONCORD など言った記憶が・・・】各教室、授業風景など拝見、私たちの為に楽器演奏や歌、プレゼントなどもたくさんいただき、たいへん嬉しく思いました。また授業などにも参加し、日本語や折り紙など教え交流を図りました。たくさんの児童や先生の皆さんと素晴らしい交流を過ごさせていただきました。



ホットラックパーティーでは、ホストファミリーの家族と一緒にカーライル高校にて食事を楽しみながら、学生さんの吹奏楽や和太鼓の演奏、歴代の交流員紹介、ボビー（今年度の交流員）の辞令・決意表明、最後締めは参加者全員でのイカダンス（函館いか踊り）で最高潮に！

大勢の方々が集まっておりましたので、是非、七飯町で交流会が開催される時には協力したいと思い過ごさせていただきました。



【五日目】 ホストファミリーと過ごす最後の日は、ユウキ・ナオユキのホストファミリーでハリ一家の息子（19歳）がセスナ機（軽飛行機）を運転していただけたので、4人でコンコード上空や近郊などフライト 【45分間のフライトを2回】 雄大な自然や湖をビデオカメラで撮影中、突然の一言、操縦する・・・？ 私は迷いもせずハンドルを握り締め操縦・・・！【操縦時間は約1分位と思いますが】 その時、同乗していた二人は『Don't touch please』 触るなの連発でした！



フライト終了後はコンコード川でカヌーを体験、同乗者はハリ一家、コンコード川のゆったりとした水の流れ、リバーサイドの風景、時間も気にせず、とても優雅なひと時を過ごすことができました。また、皆さんと一緒に視察したノースブリッジの下を通過するとは思いませんでしたので、とても感激いたしました。最後のディナーは、ハーバード大学の近くにあるシーフードレストランにて楽しいひと時を【本場のクラムチャウダー・生牡蠣・フィッシュステーキなど豪華に・・・】 帰宅後、ラリーと2人でお約束の交流を終え部屋に戻り、たくさん戴いたお土産や荷物を整理、コンコード町で過ごした日々を思い浮かべ、メモ帳に事細かく記載、明日はお別れということもあり、お礼の言葉や感謝の気持ちを考え、就床したのは早朝4時過ぎ・・・【寝ている時間をもったいない感じ】

【六日目】最後の朝、ラリー・メリーアン・マイケル・クリフ（愛犬）を呼び感謝の気持ちをしっかりと伝えました。感激のあまり涙ぐむメリーアン、涙をこらえているラリー、受験で忙しかったマイケル、行儀の良いクリフ、そして私自身も感激のあまり涙ぐむ場面も・・・【号泣です】



以下は Larry Family に心をこめて伝えた感謝の言葉です。

I enjoyed meeting your family
(ご家族と会えて嬉しかったです)

I appreciate your kindness
(お心遣いとても感謝しています)

Thank you very much

(ありがとうございました)

私は、この海外交流研修でお逢いした皆様をはじめ、ホストファミリーのご家族に心から感謝し、この町で過ごした貴重な体験は生涯忘れることはないでしょう。

多くの人との出会いを大切に、感謝の想いを胸に秘め、またいつの日になるか分かりませんが、再び訪れようと心に誓いました。そして、この素晴らしい交流が永遠に続く限り、私自身も今後は携わっていきたいと思います。

マサチューセッツ州コンコード町で過ごした素晴らしい体験は、この報告書では、ほんの一部にしか過ぎませんが、是非、興味のある方は私に尋ねていただきたいと思えますし、交流研修の参加に至っては年齢など関係なく積極的に挑戦していただきたいと想います。

きっと自分自身の視野がひろがり感性が磨かれることでしょう。更には人生の中で、とても大きな意味を持つ道が拓かれると思えます。



[最後に] 素晴らしい機会を与えていただきました七飯町、一緒に訪問団として参加した川上さん、寺谷さん、石川先生、友規、尚幸、中高生の皆さん、本当にありがとうございました。

そして、この海外交流研修を後押ししてくれた家族に心から感謝致します。



今年度から海外交流員として、がんばるボビー・カーグラさん英語の指導宜しくね！

